

バババールン福山引野 自己評価結果

討議年月日:令和 8 年 1 月 6 日

公表:令和 8 年 2 月 1 日

事業所名 バババールン福山引野

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練 室等スペースとの関係 で適切であるか	5	1	0	・安全面に配慮し、室内環境 や活動スペースの確認・整理 を定期的に行っている。	・今後も児童が安全に過ごせるよ うな活動スペースを確保し、環境 を整えていく。
	2	職員の配置数は適切で あるか	6	0	0	・利用人数や子どもの特性に 応じて職員配置を調整し、安 全で丁寧な支援が行える体制 を整えている。	・安心・安全な支援環境を維持す るため、必要に応じて職員配置の 改善に努めていく。
	3	事業所の設備等につい て、バリアフリー化の配 慮が適切になされている か	2	2	2	・転倒や接触事故を防ぐため、 定期的に設備や備品の確認 を行っている。	・職員間で気づきを共有し、環境 面の改善につなげていく。
業務改善	4	業務改善を進めるため のPDCAサイクル(目標 設定と振り返り)に、広く 職員が参画しているか	3	2	1	・定期的なミーティングを通し て、業務目標の共有や支援内 容の振り返りを行っている。 ・職員が意見を出しやすい雰 囲気づくりを心がけ、改善点を 共有できる体制を整えている。	・より多くの職員が主体的に参画 できるよう、意見交換の機会を充 実させていく。 ・PDCAサイクルを意識した業務 運営を継続し、支援の質の向上 を目指していく。
	5	保護者等向け評価表を 活用する等によりアン ケート調査を実施して 保護者等の意向等を把 握し、業務改善につな げているか	6	0	0	・保護者向け評価表やアン ケートを実施し、意見や要望 の把握に努めている。 ・いただいた意見を職員間で 共有し、日々の支援や業務改 善に活かしている。	・今後もアンケート結果を踏まえ、 より良い支援や事業所運営につ なげていく。 ・保護者の意見を反映しやすい体 制づくりを進め、業務改善を継続 していく。
	6	この自己評価の結果 を、事業所の会報や ホームページ等で公開 しているか	5	1	0	・会報や掲示物、ホームペ ージ等を活用し、事業所の取り 組みが分かりやすく伝わるよう 工夫している。	・保護者や関係者に分かりやす い形で情報発信ができるよう、掲 載方法の工夫を行っていく。 ・公開内容の充実を図り、信頼さ れる事業所づくりにつなげていく。
	7	第三者による外部評価 を行い、評価結果を業 務改善につなげている か	5	1	0	・必要に応じて第三者の視点 を取り入れ、事業所運営や支 援内容の確認を行っている。	・第三者の意見を積極的に取り入 れ、より良い事業所運営を目指し ていく。 ・客観的な評価を踏まえ、継続的 な改善に取り組んでいく。
	8	職員の資質の向上を行 うために、研修の機会 を確保しているか	4	2	0	・日々のミーティング等を通し て、支援に関する知識や対応 方法の共有を行っている。	・研修内容を日々の支援に活か せるよう、振り返りや共有の場を 充実させていく。

適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	6	0	0	・面談や日々の支援記録を通してアセスメントを行い、子どもや保護者のニーズ把握に努めている。	・保護者との連携を深め、ニーズを反映した計画作成に努めている。
	10	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	6	0	0	・職員間で情報共有を行い、客観的な視点を意識した支援につなげている。	・今後も子どもの状況把握に役立つアセスメント方法を検討し、支援の質向上につなげていく。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っているか	6	0	0	・ミーティング等を通して職員間で意見を出し合い、活動プログラムの立案を行っている。	・振り返りを継続し、活動内容の改善を図っていく。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	6	0	0	・子ども一人ひとりの特性や発達段階に応じて、活動内容や関わり方を工夫している。	・今後も活動の振り返りを継続し、より多様なプログラムの提供を目指していく。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	6	0	0	・平日・休日・長期休暇それぞれの生活リズムや活動時間に応じて、課題や活動内容を設定している。	・支援の質向上を目指し、課題設定や支援方法の工夫を続けていく。
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	6	0	0	・子どもの特性や発達段階に応じて、個別活動と集団活動を組み合わせた支援計画を作成している。	・個別活動と集団活動のバランスについて検討を重ね、支援の質向上につなげていく。
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	6	0	0	・職員研修やミーティングを通じて、支援の質の向上に努めている	・職員間の連携を深め、安心して過ごせる支援体制を維持していく。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	5	1	0	・支援の中で気付いた点や課題を共有し、次回の支援に活かすよう努めている。	・今後も振り返りの機会を大切に、支援内容の改善につなげていく。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	6	0	0	・日々の支援内容や子どもの様子について記録を行い、正確な情報の蓄積に努めている。	・今後も記録の重要性を意識し、支援の検証・改善につなげていく。
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	6	0	0	・定期的にモニタリングを実施し、子どもの成長や変化を確認している。	・子どもの状況を多面的に捉え、より実態に即した計画作成につなげていく。

	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ、支援を行っているか	6	0	0	・職員間で支援内容を共有し、ガイドラインに沿った支援が行えるよう努めている。	・基本活動の理解を深め、より効果的な組み合わせができるよう検討していく。
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	6	0	0	・関係機関との連携を大切にし、子どもにとってより良い支援につながるよう努めている。	・今後も適切な職員が参画できる体制を維持し、関係機関との連携を深めていく。
	21	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか	6	0	0	・送迎時や必要に応じて学校と連絡を取り合い、円滑な連携に努めている。	・子どもを取り巻く関係機関との連携を深め、支援の質向上につなげていく。
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	0	6	0	・現在、医ケア児はいない。	・必要に応じて連携をはかっていく
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	4	1	1	・必要に応じて関係機関と連絡を取り合い、支援内容や配慮事項について共有している。	・今後も関係機関との情報共有を大切にし、円滑な支援の引き継ぎを行っていく。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	2	2	2	・保護者や関係機関と連携し、円滑な移行につながるよう努めている。	・今後も移行期の支援を大切にし、関係機関との連携を強化していく。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	5	1	0	・児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、必要に応じて助言を受けている。	・今後も専門機関との連携を継続し、助言や研修を業務改善につなげていく。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	0	3	3	・現在はなかなか交流する機会がないのが現状。	・子どもの状況に応じて、地域交流の機会について検討していく。
	27	（地域自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか	5	1	0	・参加している。	・地域の一員としての役割を意識し、より良い支援体制づくりに努めていく。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	6	0	0	・LINEや送迎時のやり取りを通して、日々の子どもの様子を保護者に伝えている	・保護者と共通理解を持った支援が行えるよう、継続的な関わりを行っていく。

	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	3	3	0	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者との面談や日々のやり取りを通して、子どもへの関わり方について助言を行っている。 ・保護者の不安や悩みに寄り添い、相談しやすい環境づくりを心がけている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者が安心して子育てにできるような、支援体制の工夫を行っている。
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	6	0	0	<ul style="list-style-type: none"> ・契約時や必要に応じて、運営規程や支援内容、利用者負担について丁寧な説明を行っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・今後も保護者が安心して利用できるような、分かりやすい説明を継続していく。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	6	0	0	<ul style="list-style-type: none"> ・必要に応じて関係機関と連携し、保護者が安心して相談できる体制を整えている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・今後も保護者が相談しやすい環境づくりを継続していく。 ・職員間で情報共有を行い、より適切な助言や支援につなげていく。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	0	4	2	<ul style="list-style-type: none"> ・現在は父母の会等は行っていない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者のニーズを踏まえ、無理のない形で連携を支援していく。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	5	1	0	<ul style="list-style-type: none"> ・苦情や意見があった際には、内容を職員間で共有し、迅速かつ誠実に対応している。 ・必要に応じて管理者が関与し、再発防止に向けた検討を行っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・今後も苦情や意見に対して、迅速かつ丁寧な対応を継続していく。 ・職員間で対応方法の確認や共有を行い、対応力の向上を図っていく。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	6	0	0	<ul style="list-style-type: none"> ・会報やお知らせ等を通して、活動内容や行事予定、連絡体制について情報発信を行っている。 ・必要に応じて、個別に補足説明や連絡を行っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者との円滑な情報共有につなげていく。
	35	個人情報に十分注意しているか	6	0	0	<ul style="list-style-type: none"> ・書類や記録の保管方法に配慮し、外部に漏えいしないよう注意している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・今後も個人情報保護に関する意識の向上を図っていく。
	36	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	6	0	0	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもの特性に応じて、言語・視覚・動作など適切な方法で意思疎通を図っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・コミュニケーションの質向上に向け、職員研修や事例共有を活かしていく。
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	0	0	6	<ul style="list-style-type: none"> ・現在は地域との連携は図れていない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の方と関わることが出来るような活動を計画していきたい。

非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	6	0	0	・避難訓練を年数回実施し、マニュアル通りの対応ができるかを実践的に確認している。	・引き続き、緊急時・防犯・感染症発生時に、職員が迅速かつ適切に対応できる体制を整える。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	6	0	0	・職員だけでなく、子どもにも参加しやすい形式で訓練を行い、実践的な対応力を養っている。	・訓練結果の振り返りを行い、マニュアルや手順の改善につなげ、常に安全性を確保できるようにする。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	6	0	0	・年数回、虐待防止に関する職員研修を実施し、法律や通報義務、具体的事例に基づく対応方法を学ぶ機会を確保している。	・今後も定期的に研修を行いながら、職員の理解度向上、児童の安全と安心を確保し、事業所全体で虐待防止の意識を高める。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	6	0	0	・身体拘束の実施基準や判断手順をマニュアル化し、職員に周知・研修を行っている。	・定期的に運用状況を確認・評価し、必要に応じてマニュアルや計画の改善を行う。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	6	0	0	・保護者と連携を取りながら、個々の子どものアレルギー情報や除去食品、対応方法を職員間で共有している。	・保護者と連携し、食物アレルギーに関する情報を常に最新に保ち、対応の質を維持する。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	6	0	0	・日常業務や活動中に発生したヒヤリハットを記録し、定期的に事例集として整理している。	・職員間で過去の事例を共有し、同様の事故やトラブルの再発防止につなげる。

○この「事業所における自己評価結果(公表)」は、事業所全体で行った自己評価です。